

高付加価値リチウムイオン電池の展望

～ 特性、開発、製造、コストと市場 ～

「技術に優れた日本のリチウムイオン電池が、その座を韓国メーカーに奪われた」。はたして本当か。SONYの開発から20年以上を経て、10年以上にわたって創業者利益を享受した日本の電池とその材料メーカーが、何時までもトップにいる必然性は何処にもない。日本の工業製品の大事な顧客である韓国、中国その他の国との、国際分業に移行するのは当然であろう。

では、もう日本のリチウムイオン電池と材料メーカーは食えないのか、衰退に向かうのか。これは、例えば民生用の小型電池だけを考えれば然りである。電池は電池だけでは何の価値もない。応用分野の多様性と、その中での新たな価値の創出が伴えば、電池は不可欠なデバイスとして、さらに利益の期待できる製品である。

本セミナーでは、中小型ではEVを除く自動車分野、アシスト自転車、電動工具、スマホ用など。大型分野では自然エネルギー蓄電、交通機器（回生）、災害対応機器など、高付加価値リチウムイオン電池の展望を、特性、開発、製造、コストと市場などの切り口で紹介する。安全性が高く、長期の使用に耐えるリチウムイオン電池の設計・製造は外国技術のまねではできない。安全性など困難な試練を乗り越えれば、日本の電池は世界から求められ、中長期の利益が確保可能である。可能な限り定量的なデータ解析から、上記の点をセミナーで紹介する。

開催日時	2014年6月12日(木) 10:30～16:30	【会場】	中央大学駿河台記念館 5F 500会議室 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
受講料	48,600円(税込) ※資料代、弁当代 含		

1. リチウムイオン電池の応用と市場展望

講師	田中 謙司 氏 東京大学 専任准教授 総長室 総括プロジェクト機構 電子デバイス・ワークイノベーション 総括寄附講座 工学系研究科 システム創成学専攻 (兼任)	10:30～12:00 (質疑含)
プログラム	1. リチウムイオン電池の魅力と市場展望 2. 民生用・定置用リチウムイオン電池の活用 3. リチウムイオン電池を用いた付加価値サービスの可能性 4. 事例研究	

2. 高付加価値系リチウムイオン電池、技術とビジネスモデル

講師	菅原 秀一 氏 泉化研(株) 代表	13:00～15:10 (質疑含)
プログラム	1. スマートフォンと電池/生産販売動向、充電系の特徴と課題 電池の特性、規格と安全性、電池事故と対策 2. 電動工具と電池/生産販売動向、電池の種類と特性、急速充電、保存と安全性、回路と充電器 3. アシスト自転車と電池 /生産販売動向、商品構成、電池の特性と寿命対策、安全性対策、海外動向と規格 4. 電池(セル)の高容量化と軽量化 5. 電池製造とコスト推定 6. ビジネスモデル(原材料から応用製品へ)	

3. 定置型リチウムイオン蓄電池市場の動向と展望

講師	藤田 誠人 氏 (株)野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部	15:20～16:30 (質疑含)
プログラム	1. 定置用市場のセグメンテーション 2. 市場拡大のドライバー、阻害要因 3. 近年の主なプレイヤーの動向 4. 技術間競合 5. 定置用市場の事業展開における留意点	

※プログラム充実のため内容が変更になることもあります。

弊社記入欄	セミナー申込書 (S&T 出版)		
セミナー名	高付加価値リチウムイオン電池の展望 ～特性、開発、製造、コストと市場～		
所定の事項にご記入下さい	会社名(団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
	部署	役職	E-mail : 氏名
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・その他	お支払予定	2014年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAXでお申し込みください。折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789